



2年連続受賞！今回は、住宅密集地における 快適な住まいのあり方を考え抜いた家
「ナナメに配置した家」
2016年度 グッドデザイン賞を受賞

横浜市を中心に、新築住宅の建築・リフォーム・環境エネルギー事業を行う株式会社タツミプランニング(本社:神奈川県横浜市、代表取締役:米山 茂 以下「当社」)の [ナナメに配置した家]~タツミプランニング 平沼橋モデルハウス~が、このたび 2016年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。[ナナメに配置した家]は、土地の制約を起点に設計するのではなく、その家に住む人が理想の暮らしを実現させることを目的に、狭小地や住宅密集地における快適な住まいのあり方を考え抜いた結果、「一見斬新な構成だが、実は人のスケールに合わせた非常に優しい構成」「色々なところに小さな人の居場所が生まれている」(※審査委員会の評価コメントを引用)ことが高く評価されました。尚、当社の受賞は 2015年度に続き 2年連続の受賞となります(以上趣旨)。



【受賞概要】

□ 名称: “ナナメに配置した家”

タツミプランニング 平沼橋モデルハウス

□ 概要: 狭小地や変形地に建物を建築する場合、居住空間をなるべく広く取るため、区画いっぱい配置しがちになるが、通気性や採光性が下がり、プライバシーが損なわれるという問題が発生する。土地に対して「まっすぐ」に家を建てるという既成概念を取り払うことで、住宅建築の自由度が増し、住む人の多様なニーズにあわせた住宅設計が可能となった。

□ 紹介ページ: <http://www.tatsumi-planning.co.jp/archist/index.html>

◆受賞の詳細

□ プロデューサー／ディレクター／デザイナー

米山茂／三浦将之／Design Labo（すべて 株式会社タツミプランニング）

□ デザインコンセプト、背景

狭小地や住宅密集地における快適な住まいのあり方として、敢えて土地に対して斜めに配置する住宅をつくりました。斜めにすることにより得られる効果は、1.隣家との間にスペースができ、十分な通気と採光が得られる、2.隣家や道路に対して真正面に向き合わないため、視線を逃がすことができる、3.庭を作り出せる、4.街並みにリズムが生まれる など。また、斜めに配置した効果を最大化するため、住まいの中央に中庭を設けています。土地に対してまっすぐに家を建てるという既成概念を取り払うことで、住宅建築の自由度が増し、多様なニーズにあわせた住宅設計が可能です。

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント(全文)

「土地に対して斜めに配置、構成することにより、色々なところに小さな人の居場所が生まれている。一見斬新な構成だが、実は人のスケールに合わせた非常に優しい構成となっている。」



※写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

◆グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション 2016(G展)」に出展

本年 10 月 28 日(金)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「グッドデザインエキシビション 2016(G展)」会場で、本年度受賞デザインとして紹介されます。

[グッドデザインエキシビション 2016(G展)] <http://www.g-mark.org/meeting>

会期:10月28日(金)～11月3日(火) 会場:東京ミッドタウン(東京都港区) 渋谷ヒカリエ(東京都渋谷区)

■(参考)2015年度グッドデザイン賞 受賞内容

“本当サイズ”の感動あふれるモデルハウス

「魔法びんハウス®」のタツミプランニング みなとみらいモデルハウス」

[夢の]ではなく、[夢がかなう]マイホームへと家づくりの概念そのものを進化させ、最短で“本当サイズ”の家づくりを可能にしたモデルハウス。



■グッドデザイン賞とは



GOOD
DESIGN

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで長きにわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は43,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

本発表資料のお問い合わせ先

株式会社タツミプランニング（広報担当）

TEL:045-211-6003(直通) FAX:045-664-7558(直通)